

令和 8 年度第 1 回野々市市総合計画審議会 議事録

- 日 時** 令和 8 年 7 月 13 日（月） 午前 1 0 時から午前 1 1 時 1 1 分
- 場 所** 野々市市役所 2 階 ホール 椿
- 次 第**
- 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 市長あいさつ
 - 4 会長の選出
 - 5 諮問「野々市市第二次総合計画 後期基本計画の策定」について
 - 6 議事
 - （1）後期基本計画の策定方針（案）について
 - （2）第二次総合計画の進捗状況について
 - （3）後期基本計画の基本姿勢見直し（案）について
 - 7 その他
 - 8 閉会

AMANDA ROSARIO

出席委員	JOSEPHINE GABRIELLA	池田 千可子委員	石田 修委員	垣坂 太佳盛委員
	ANRIBALI 委員			
	北川 千里委員	北川 優委員	北村 恒委員	小柳 喬委員
	下川 雄一委員	高瀬 寿彦委員	高田 功委員	千葉 康平委員
	中出 恵美委員	中村 昭一委員	畠 紀子委員	松岡 砂都美委員
	山田 光葵委員	吉岡 潤委員		
欠席委員	笠間 悟委員			
事務局	栗市長	山口副市長	栗総務部長	東地域政策部長
	徳野健康福祉部次長	道下建設部長	松村教育部次長	荒木企画財政課長

1 開会

委員 19 名のうち、18 名が出席

会議概要の説明

資料確認

2 委嘱状交付

昨年度末で任期が満了となったことから委員全員の委嘱状を机上配付にて交付

3 市長あいさつ

4 会長の選出

会長：金沢工業大学 建築学部長 下川 雄一委員

副会長：石川県立大学 産学官連携学術交流センター長 小柳 喬委員

5 諮問「野々市市第二次総合計画 後期基本計画の策定」について

6 議事

(1) 後期基本計画の策定方針（案）について

事務局より説明（資料 1）

後期基本計画の策定方針（案）について事務局案のとおり承認

(2) 第二次総合計画の進捗状況について

事務局より説明（資料 2）

<当日の質疑応答>

【 質 問 】

資料 2 4 ページ 今後の方向性

「道路・橋梁・上下水道の長寿命化・耐震化を計画的に促進」について、野々市市には橋長 2m 以上の橋が 235 橋あるが、どのように点検を行っているのか。また、県外で下水道の老朽化が原因による道路陥没事故が発生したが、市が管理する下水道で老朽化している下水道はあるか。

【 回 答 】

橋長が 2 メートル以上の橋に対しては、5 年に 1 回のサイクルで点検を行っている。手法については、ドローンを活用した点検や人による近接目視により実施し、ランク付けをした上で修繕へ繋げている。上下水道の耐震化の進捗状況については、上水道で 53%、下

水道では 77%程度である。

(3) 後期基本計画の基本姿勢見直し(案)について

事務局より説明(資料3)

<当日の質疑応答>

【質問】

資料3 8ページ 3行政評価による前期計画の進捗状況 目標7快適がゆきとどくまち
「主な成果の都市計画道路整備延長」について、市の道路の混雑状況は市のほうで把握しているのか。

【回答】

数年に1回道路交通量調査を実施し、把握している。

【質問】

資料3 6ページ 市民意識調査の概要

転出理由として「生活環境が良くない」と回答した人が前回調査から 23.1 ポイント増加した点について、具体的にはどのような生活環境が良くないと回答しているのか。

【回答】

市民意識調査の結果を引用しており、自由回答欄では「地価や家賃が高い」との回答が多く見られる。

【質問】

資料3 7ページ 3行政評価による前期計画の進捗状況 目標3安全・安心なまち

防災士数の目標人数は達成している。一方、女性の防災士が少ないため、今後は女性防災士数の増加を目指していくのか。また、公共シェアサイクルの導入に向けて社会実験が始まるが、自転車の走行環境の整備について、市はどのように考えているのか。

【回答】

防災士数は目標を達成しているものの、さらに一人でも多く確保したいと考えている。また、女性防災士の確保に繋がるような視点を取り入れ、引き続き防災士の数を増やしていきたい。

【回答】

公共シェアサイクルについては令和9年度の本格導入に向け、今年度は社会実験の実施

を予定している。その社会実験では、自転車にGPSを搭載しており、社会実験の検証結果をもとに今後の走行環境の整備について検討していきたいと考えている。

【 質 問 】

前期基本計画には各施設の長寿命化計画について記載されていたが、予備避難所なども盛り込まれているのか。

【 回 答 】

耐震基準を満たしている施設を対象としているため、耐震化が完了していない施設はないように思うが、改めて確認する。

【 質 問 】

協働実感が低下しているため、市民の「見える化・発信」が優先課題とあるが、見えていないことが原因という分析がされているのか。見えにくくなっている阻害要因があらわになっているのか。

【 回 答 】

阻害要因について具体的には把握できていないが、様々な取組みを実施しているものの、市民に知られていない可能性があるため、発信をもう少し強化する必要があると考えている。

後期基本計画の基本姿勢見直し（案）について事務局案のとおり承認

7 その他

8 閉会